

発達障害のある人の就労支援と 宮城障害者職業センターの役割

発達障害のある人の就労支援は、いくつかの機関とそこに所属する複数の支援者が連携してあたる場合が少なくありません。

「独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構」が全都道府県に設置している地域障害者職業センターは、障害のある人に対して、ハローワーク（公共職業安定所）と協力して、就職に向けての相談、職業能力等の評価、就職前の支援から、就職後の職場適応のための援助まで、個々の障害者の状況に応じた継続的なサービスを提供しています。近年は発達障害のある人の就労支援も手がけています。

第3回定例会では、宮城県における発達障害のある人の就労支援の現状、宮城県障害者職業センターが果たしている役割についてお話しをお伺いし、上手な活用についてもアドバイスさせていただきます。

【日 時】 2013年2月10日（日）午後1時30分より

【会 場】 仙台市・福祉プラザ（地下鉄・五橋駅で下車）

【講 師】 三谷幸代さん

（宮城障害者職業センター 障害者職業カウンセラー）



◎会員でない人も「見学」参加ができます。

資料準備の都合があるので、事前にご連絡を。

◎このあと2013年の定例会では

「発達障害のある子の不登校とどう向き合うか」（仮題）

「発達障害とひきこもりを考える」（仮題）

などを取り上げることを検討しています。

◎お問い合わせ、加入の希望はメールでお寄せ下さい。

ciel.aspe@gmail.com

高機能自閉症、アスペルガー、広汎性発達障害のある子どもの親の会です

シエルの会のご案内

(会の趣旨) 知的には正常範囲にありますが、対人関係、想像力、社会性に困難さを抱えた子どもたちが、自分らしく歩んでいけるよう活動しています。

(発 足) 2000年9月。

(会 員) 小学生以上の高機能自閉症、アスペルガー、広汎性発達障害児（及びそれが疑われる児）をもつ親、その相談に従事するもの、及び障害に理解を示す人で構成しています。会員数は宮城県内の75名（2013年1月15日現在）

(年間会費) 3000円です

(2013年の活動予定)

・年齢別グループによる活動

子どもの年齢別に、小中学生、高校生、青年と3グループに分かれて活動しています。学習会、支援機関の見学、情報交換、レクリエーションなど様々な活動を進めています。

・定例会(全会員の研修会) 5月12日(総会)、6月23日、10月、来年2月を予定。

・講演会またはワークショップ 随時開催しています。

・レクリエーション

親子で楽しむ活動を行っています。年1回程度。成人を祝う会を2月9日に開催。

・TEACCH勉強会(希望者が参加、10人程度まで)

専門家に講師を願い、今年度は年3回の開催(教材費等の負担が1回2千円あります)。

・子どもたちによる当事者活動

「エンジョイサウンド」(打楽器のサークル) = 高校生以上の希望者が参加

・個別の学習支援(小中学生の希望者が対象)

週一回、毎回90分、特別支援教育を経験した元教師が指導(教材費等の負担があります)

・会報の発行、情報収集と情報提供

会報を年2回発行しています。メーリングリストで各種情報を提供しています。

・加入している団体

日本発達障害ネットワーク(JDDネット) = 日本の発達障害を代表するネットワーク

2009年9月に加入。発達障害への理解と支援を進める各種の活動を推進。

発達支援ひろがりネット = 宮城県の発達障害に関わる団体のネットワーク。

2006年から準備し、2007年に正式発足しました。

・「発達障害啓発週間」の企画として講演会を主催。

2013年4月6日13時30分より、仙台弁護士会館で

「発達障害のある人の非行・触法行為～裁判の支援、更生、家族の支援を考える」

・『便利帳』(仮称)の作成を進めています。

アスペ・エルデの会(本部=名古屋市)の賛助会員です。

講演会の共同開催、雑誌『アスペ・ハート』の普及などを行っています。

・ブログで情報を発信しています URL = <http://blog.canpan.info/ciel/>

・お問い合わせ、加入申し込みなどはメールで。アドレスは ciel.aspe@gmail.com

「シエル」: フランス語で“空(そら)”の意味です